

平成30年度
業務年報

目次

1	沿革	1
2	業務概要	2
3	機構（組織・職員）	3
4	施設（土地・建物）	4
5	設備	5
6	業務実績	8
7	役員名簿	13

宮崎県機械技術センター
公益財団法人 宮崎県機械技術振興協会

〒882-0024 延岡市大武町 39-82

TEL (0982)23-1100

FAX (0982)23-1104

URL <http://www.mmtc.or.jp/>

E-mail info@mmtc.or.jp

1 沿革

県北における工業技術に関する試験研究指導機関の歴史は、昭和 11 年に都城市北原町に設置された県立工芸指導所の延岡分所に始まる。その後、昭和 14 年に機械工訓育所が併設され、県北の産地型技術指導機関として中小企業の技術指導と技術者の養成に貢献した。しかし、戦後の混乱期に、これら指導所、訓育所は相次いで閉鎖の止むなきに至った。

その後、昭和 22 年に、戦後産業復興の一環として、工業の振興が本県産業の振興に寄与するとの観点から、昭和 23 年 3 月、県都宮崎市に、工業技術の振興を図るための総合的試験研究指導機関として県立工業試験場が設立され、都城市にはその分場として、昭和 22 年に設置されていた木工技術員養成所を吸収合併し、都城分場が設置され、その内容の充実が図られた。このような情勢の中、工業集積の高い県北では、昭和 35 年頃から、都城分場に対応する延岡分場の設置要望が起こり、特に、昭和 39 年に日向延岡地区が新産業都市の指定を受けて以来、分場誘致運動が活発となり、さらに、昭和 49 年に延岡市に鉄工団地が建設されたことで、機械・金属工業部門の技術指導機関設置への要望が一段と高まった。

これらの地元の要望に応じて県では、昭和 54 年 4 月に、第一次オイルショック後の県北の特定不況地域の指定に対応する施策の一環として、延岡市大武町に宮崎県機械技術センターを設立することとなった。

また、平成 18 年 4 月に、県から宮崎県機械技術センターの指定管理者として指定を受け、さらには、平成 25 年 4 月から「公益財団法人」として新たなスタートを切り、現在に至っている。

昭和 35 年	延岡商工会議所より工業試験場分場設置について陳情
昭和 45 年	延岡商工会議所より機械金属技術指導機関の設置について県に要望書提出
昭和 48 年	延岡鉄工団地協同組合より工業試験場分場設置について陳情
昭和 50 年	延岡市議会議長より県工業試験場延岡分場誘致に関する陳情書を県に提出
昭和 51 年	延岡市長、日向市長及び門川町長が連名で工業試験場分場設置について県議会に請願 県議会において請願採択
昭和 53 年	県議会において公の施設に関する条例の改正（宮崎県機械技術センターの設置）を議決 宮崎県機械技術センター建設工事着工
昭和 54 年	財団法人宮崎県機械技術振興協会を設立 宮崎県機械技術センター完成 宮崎県機械技術センター業務を開始。宮崎県は 4 月 1 日付けで宮崎県機械技術センターの 管理、運營業務の委託について、財団法人宮崎県機械技術振興協会と契約を締結 宮崎県機械技術センター竣工式を挙げる
昭和 55 年	昭和 55 年度より 3 ヶ年計画により指導設備の整備を実施
昭和 61 年	宮崎県機械技術センター強化整備計画により別棟工事着工（日本小型自動車振興会補助）
昭和 62 年	別棟工事完工 昭和 62 年度より強化整備計画による指導設備の整備を開始
平成 9 年	ホームページを開設し、情報発信機能を整備
平成 17 年	ホームページを再構築し、情報発信機能を強化
平成 18 年	指定管理者制度に基づき、宮崎県機械技術センターの管理者に指定（第 1 期：H18～H20）
平成 21 年	指定管理者制度に基づき、宮崎県機械技術センターの管理者に指定（第 2 期：H21～H25）
平成 25 年	公益財団法人宮崎県機械技術振興協会に移行
平成 26 年	指定管理者制度に基づき、宮崎県機械技術センターの管理者に指定（第 3 期：H26～H30）

2 業務概要

宮崎県機械技術センター（以下「センター」という。）は、県内機械金属工業の振興を目的とし、主として県北を中心とする関連企業を対象に、機械金属技術に関する各種の支援業務を行っている。なお、当センターの管理運営は宮崎県の指定により、(公財)宮崎県機械技術振興協会がこれを行っている。

- (1) 技術の向上を目的とした業務
 - ① 技術相談・指導
 - ② センター機械設備の取扱研修の開催
 - ③ 技術講習会、技術セミナーの開催
 - ④ 専門家等派遣による現場指導又は技能伝承の実施
 - ⑤ ものづくりに係る品質向上の指導の実施

- (2) 試験研究に関する業務

- (3) 設備利用に関する業務

- (4) 依頼試験に関する業務

- (5) 先進地技術調査及び新技術導入のための派遣研修に関する業務

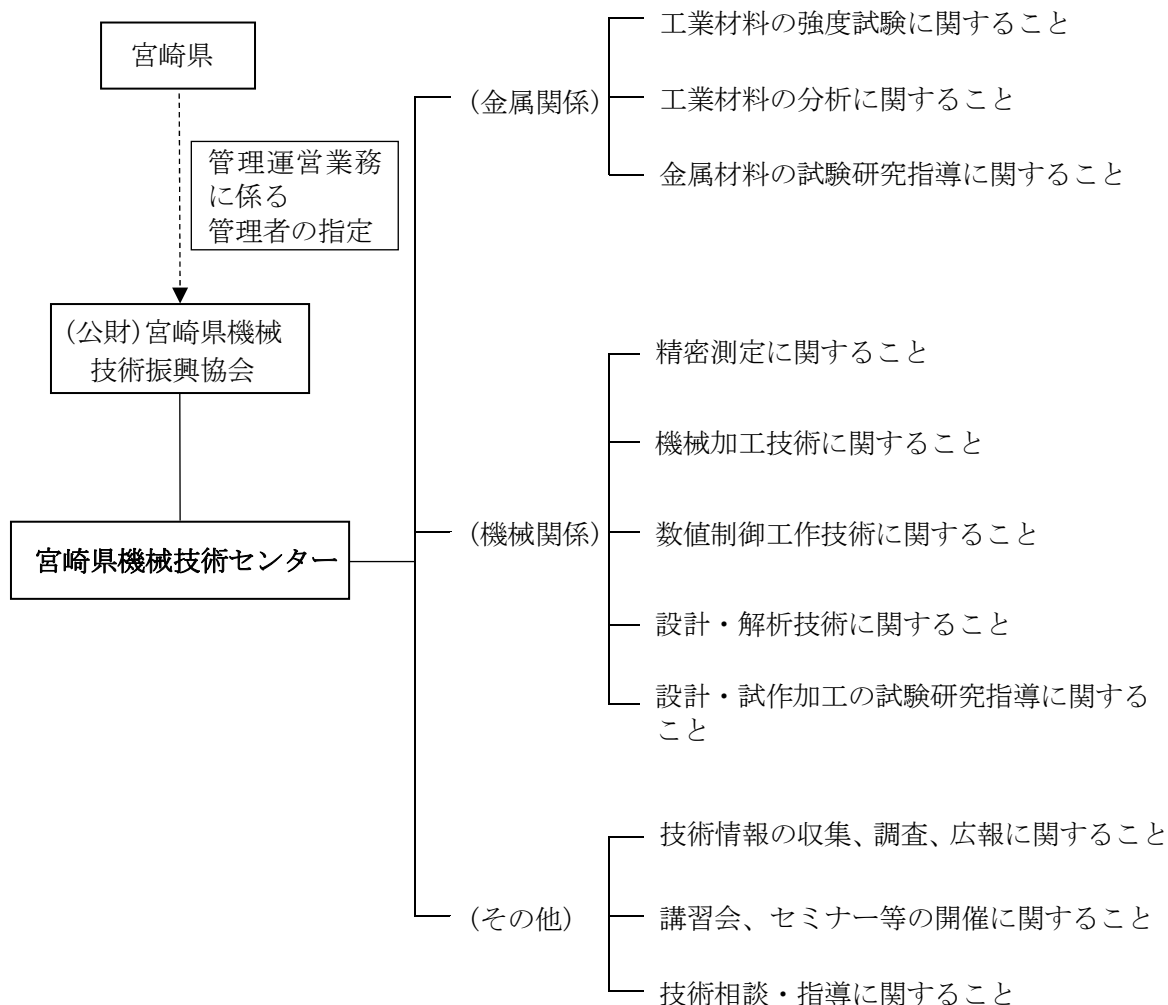
- (6) 宮崎県工業技術センター等他機関との連携に関する業務

- (7) 補助金等申請に関する支援業務

- (8) 情報の収集と発信に関する業務

3 機構

3-1 組織



3-2 職員一覧

(平成 31 年 3 月 31 日現在 7 名)

職名	氏名	備考
所長	久木崎 雅人	(公財)宮崎県機械技術振興協会常務理事
事務局長	山口 英子	(公財)宮崎県機械技術振興協会職員
主査	知念 武志	(公財)宮崎県機械技術振興協会職員
主任技師	石黒 圭亮	宮崎県派遣職員
専門技師	福島 洋一	(公財)宮崎県機械技術振興協会有期雇用職員
技師	奈須 美喜	(公財)宮崎県機械技術振興協会有期雇用職員
主事	黒木 美保	(公財)宮崎県機械技術振興協会有期雇用職員

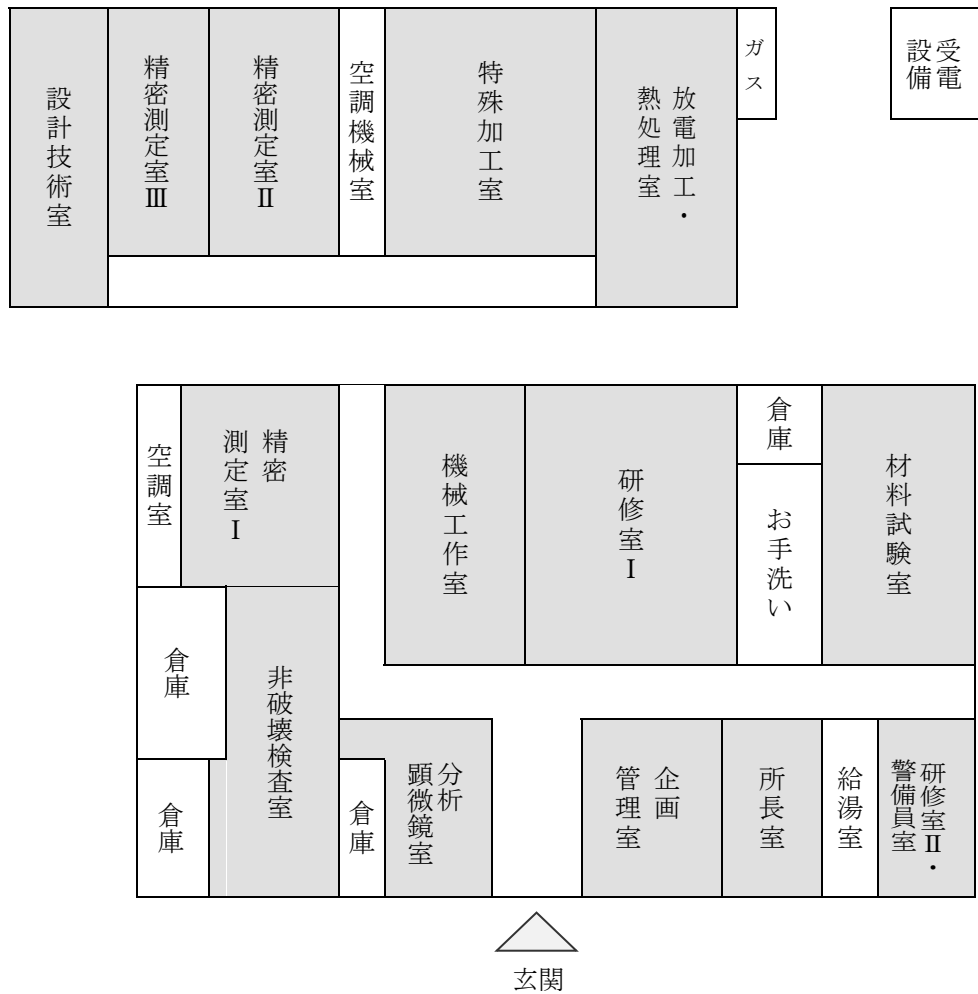
4 施設

4-1 土地・建物

所在地 宮崎県延岡市大武町 39 番地 82
 敷地 2,682.45 m²
 建物 787.59 m² (本館 540 m², 別棟 226.5 m², その他 21.09 m²)

企画管理室	30.3 m ²	機械工作室	48.4 m ²
所長室	20.2 m ²	設計技術室	28.9 m ²
研修室Ⅱ・警備員室	20.2 m ²	精密測定室Ⅲ	21.4 m ²
研修室Ⅰ	76.0 m ²	精密測定室Ⅱ	33.2 m ²
材料試験室	56.0 m ²	特殊加工室	53.7 m ²
精密測定室Ⅰ	42.0 m ²	放電加工・熱処理室	45.0 m ²
非破壊検査室	64.0 m ²	給湯室	10.1 m ²
分析顕微鏡室	40.4 m ²	その他	197.79 m ²

4-2 建物平面図



5 設備

5-1 主要機械設備

区分	設 備 名	製 造 会 社	型 式 ・ 能 力	設置年度
試 験 檢 査	万能材料試験機 (100トン)	島津製作所	UMH-100NIR型 (100t)	S 53
	万能材料試験機 (10トン)	東京衡機製造所	RU-10DA	S 56 ※
	工業用ファイバースコープ	オリンパス	IF8D4-15	S 63 ●
	ビッカース硬度計	明石製作所	AVK-C2	H 02 ●
	顕微鏡試料作製装置	丸本工業	ラボトム/フロントプレス-10	H 08 ●
	超微小硬度計	島津製作所	DUH-201S	H 08
	表面形状測定顕微鏡	キーエンス	VF-7500	H 10 ●
	ブリネル硬さ試験機	島津製作所	3000kgf	H 10
	三次元干渉測定顕微鏡	キヤノン	5010	H 11 ●
	デジタルロックウェル硬度計	アカシ	ATK-F3000L	H 12 ●
	オートグラフ	島津製作所	AG-5000B	H 05 ●
	超音波探傷器	湘菱電子	UI-23D	H 14 ●
	低真空走査電子顕微鏡	日本電子	JSM-6380LA/KM	H 16 ※
	デジタルマイクロスコープ	ハイロックス	KH-7700	H 21 ★
	マイクロビッカース硬度計	島津製作所	HMV-2	H 21 ★
	万能材料試験制御器 (100トン)	島津製作所	UH-1	H 21 ★
	超音波顕微鏡	日本レーザー	SAM300	H 21 ★
	サーモグラフィー	NEC Avio	H2630	H 23 ☆
	超音波プローブ	日本レーザー	100MHz	H 23 ☆
	動ひずみ測定ユニット	東京測器研究所	TMR-222	H 23 ☆
オートグラフ制御装置	島津製作所	TRAPEZIUM2	H 23 ☆	
蛍光X線分析装置 (エネルギー分散型)	島津製作所	EDX-8000	H 26 ※	
実体顕微鏡用デジタルカメラ	オリンパス	DP73	H 26	
赤外顕微鏡付きフーリエ変換赤外分光光度計	日本分光	FT/IR-6600・IRT-5200	H 29 ※	
熱 処 理	電気炉 (18 kW)	サーマル	STL-5	H 09
	放電被覆肉盛り装置	テクノコート	42-50	H 11
精 密 加 工	超精密平面研削盤	三井ハイテック	MSG-250H2	H 01 ●
	砥粒流動研磨装置	東洋エクスワールドホン	Mark VII-80	H 03 ●
	NCワイヤカット放電加工機	西部電機	EW-A5S	H 17 ○
	NC成形放電加工機	ソディック	A35R	H 17 ○
	精密万能自動切断機	平和テクニカ	HS-45A IIS	H 17 ○
	ドリル研削盤	細井工作所	U-nice	H 13
	ドリルタップ盤	中根製作所	NXT-13DT	H 14
	万能工具研削盤	牧野フライス製作所	C-40	H 14 ●
平面研削盤	黒田精工	GS-63PF	H 21 ★	

	コンプレッサー	三井精機工業	ESCAL46R	H 23 ☆
精密測定	非接触二次元微細形状測定器	東京精密	サーフコム 920A	H 01 ●
	万能投影機	ミットヨ	PJ-311	H 01
	輪郭測定機	ミットヨ	CBH-400	H 02 ●
	CNC三次元測定機	東京精密	PA800A-V-60X	H 05 ●
	CNC三次元測定機	ミットヨ	FALCIO-Apex9166	H 18 ※
	真円度測定機	ミットヨ	ラウンドテストRA-736	H 17 ○
	工具顕微鏡	ニコインステック	MM-100AU	H 17 ○
	工具顕微鏡画像ユニット	ミットヨ	QSPAK	H 23 ●
	表面粗さ測定機	東京精密	サーフコム 480A-13	H 17
	マシンチェックゲージ	レニショー		H 17
	ボールバーシステム	レニショー	QC10	H 19 ※
	ダイヤルゲージ検査機	ミットヨ	アイチェッカ IC1000/KM	H 21 ★
	輪郭測定器	東京精密	コンタ-レコード 2600E-13	H 21 ★
	CNC三次元測定機用制御器	東京精密	PA800A-V-41X	H 21 ★
	非接触三次元構造解析顕微鏡制御器	キャノンマーケティングジャパン	ZYGO	H 21 ★
	真円度測定ソフトウェア	ミットヨ	ROUNDPAK-CMM	H 23 ☆
	工具顕微鏡画像ユニット	ミットヨ	QSPAK	H 23 ☆
レーザー計測システム	レニショー	XL-80	H 27	
レーザー計測システム用オプションユニット	レニショー	XL-80	H 29 ※	
設計	CAD・CAM・CAEシステム	PTC ジャパン	Pro Engineer WildFire	H 21 ※
	CADデータ変換・修正システム	エリジオン	CAD doctor	H 21 ※
	非接触三次元形状測定機	コニカミノルタセンシング	Vivid9i	H 21 ※
	ラピッドプロトタイプング装置	Stratasys Inc.	Dimension BST1200es	H 21 ※
	熱流体解析システム	ソフトウェアクレイドル	SCRYU/Tetra	H 23 ※
	立体形状撮影システム	トプコン	Image Master Pro	H 23 ☆
	CAD用大型プリンター	キヤノン	Image PROGRAPH iPF 655	H 23 ☆
	試作支援加工システム	ローランド デージー	MDX-5000R	H 23 ☆
	精密自動回転ステージ	シグマ光機	KST-160YAW	H 23 ☆

※ JKA補助 ● 日本小型自動車振興会補助 ○ 活性化支援事業費補助

★地域活性化・経済危機対策交付金 ☆地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）

5-2 設備料金表

番号	設備名	料金単価 (円/時)	番号	設備名	料金単価 (円/時)
1	CNC 三次元測定機 (ミットヨ製)	3,305	29	NC ワイヤカット放電加工機	2,370
2	CNC 三次元測定機 (東京精密製)	3,305	30	平面研削盤	815
3	輪郭測定機	970	31	砥粒流動研磨装置	1,245
4	万能投影機	505	32	万能工具研削盤	755
5	真円度測定機	865	33	ドリル研削盤	335
6	三次元干渉測定顕微鏡	2,995	34	卓上フライス盤	85
7	工具顕微鏡	2,300	35	卓上ミニ旋盤	60
8	非接触二次元微細形状測定器	2,135	36	ドリルタップ盤	55
9	低真空走査電子顕微鏡	1,800	37	電気炉 (18 kW)	1,005
10	表面形状測定顕微鏡	1,765	38	放電被覆肉盛り装置	320
11	実体顕微鏡	730	39	表面粗さ測定機	410
12	デジタルマイクロスコープ	1,445	40	マシンチェックゲージ	100
13	工業用ファイバースコープ	215	41	ラピッドプロトタイピング装置	1,635
14	万能材料試験機 (100 トン)	905	42	CAD・CAM・CAE システム	3,840
15	万能材料試験機 (10 トン)	1,595	43	非接触三次元形状測定機	1,330
16	オートグラフ	4,005	44	CAD データ変換・修正システム	1,090
17	超音波探傷器	415	45	超音波顕微鏡	1,235
18	デジタルロックウェル硬度計	360	46	ダイヤルゲージ検査機	420
19	ビッカース硬度計	630	47	試作支援加工システム	1,445
20	マイクロビッカース硬度計	490	48	サーモグラフィ	985
21	超微小硬度計	2,105	49	CAD 用大型プリンター	1,500
22	ブリネル硬さ試験機	325	50	熱流体解析システム	955
23	超音波硬さ計	130	51	立体形状撮影システム	695
24	反発式ポータブル硬度計	110	52	精密万能自動切断機	610
25	ボールバーシステム	665	53	蛍光 X 線分析装置(エネルギー分散型)	1,790
26	試料研磨システム	425	54	赤外顕微鏡付き FT-IR	1,730
27	顕微鏡試料作製装置	490	55	実体顕微鏡用デジタルカメラ	1,225
28	NC 成形放電加工機	2,305	56	レーザー計測システム	1,200

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

6 業務実績

6-1 技術の向上を目的とした業務

6-1-1 技術相談・指導

企業から寄せられた様々な技術相談や技術指導の依頼に対応した。

技術相談 366件（95企業）

技術指導 221件（延べ246人）

6-1-2 研修会、セミナー等の実施

企業の技術の向上を目指して各種の研修会、セミナー等を開催した。

① センター機械設備の取扱研修

13コース 39回（延べ109人）

研修名	回数	延べ人数
熱流体解析システム操作研修	3	7
蛍光X線分析装置操作研修	2	2
低真空走査電子顕微鏡操作研修	4	6
NCワイヤーカット放電加工機操作研修	2	8
赤外顕微鏡付きFT-IR	5	8
スモールツール操作研修	3	14
CNC三次元測定機操作研修	1	2
デジタルマイクロスコープ操作研修	5	6
技能検定・機械検査1級・2級試験対策講座	8	35
製図と図面の基礎研修	2	6
金属材料の基礎研修	1	6
機械加工の基礎研修	2	6
新入社員向けのスモールツール座学研修	1	3
合計	39	109

② 技術講習会

5回（延べ121人）

実施日	講習会名	講師	参加人数
H30.4.5	穴・ネジ加工技術セミナー	オーエスジー(株) 企画部 児玉 光雄氏	22
H30.6.21	FT-IR 赤外顕微鏡実技セミナー	日本分光(株) 光ソリューション部 樋口 祐士氏	12
H30.12.5	最新産業用ロボットによる 自動化ソリューション体験 会セミナー	三菱電機(株) 川崎圭太氏・松村弥佳氏・ 野口真理氏 メルダスシステムエンジニアリング(株) 中村和正氏	57
H31.1.18	機器分析入門セミナー	宮崎県機械技術センター 福島 洋一	11
H31.1.25	非破壊検査技術の最新動向	(株)島津製作所 分析計測事業部 大河内宏和氏、丸岡啓子氏	19

各講習会の内容

穴・ネジ加工技術セミナー	ものづくり現場における穴あけ・ネジ加工に特化した講義について、加工事例を交えながら、Q&A方式で解説した。
FT-IR赤外顕微鏡実技セミナー	微小物質の材料分析に用いられる赤外顕微鏡について、実技セミナーを実施した。分析の実務や解析の手法を説明した。
最新産業用ロボットによる自動化ソリューション体験会セミナー	最新の産業用ロボットを数台準備し、現場での使用をイメージしたデモを行い、参加者にロボット動作の体験をしていただいた。
機器分析入門セミナー	当センター所有の3つの分析機器（低真空走査電子顕微鏡、蛍光X線分析装置、赤外顕微鏡付き FT-IR）を用いて異物分析の座学と分析実習を行った。
非破壊検査技術の最新動向	X線CTを用いた非破壊検査技術の最新の技術動向と樹脂やアルミ部品等の検査データを紹介した。

③ 技術セミナー

他県のものづくり中小企業の成功事例をテーマとしてセミナーを開催した。

日時：平成30年11月28日（水） 16:00～18:00

会場：エンシティホテル延岡 3F ノースオブハウストン（延岡市紺屋町1-4-28）

主催：（公財）宮崎県機械技術振興協会、延岡鐵工団地協同組合

出席者：49名

演題：「ディズニー・NASAが認めた、利益率20%を超えるIT鉄工所」

講師：HILLTOP株式会社 代表取締役副社長 山本昌作氏

内容：アルミニウム素材の特注加工の事業に特化し、熟練職人の暗黙知の技術をデータベース化し自動化（無人運転）することで、下請企業からの脱却と利益率の大幅向上を成し遂げたものづくり企業経営者の成功談を講演していただいた。社内方針として、トップダウンではなく、ボトムアップにより社員自らが自発的に業務を提案・改善させることで人材育成を図っており、人材確保や社員の早期離職に悩む経営者にとって大変参考になるような講演であった。

6-1-3 専門家等派遣による現場指導又は技能伝承

1件（延べ4回）

平成30年度高校生溶接技術競技会九州大会に臨む日向工業高校生の溶接スキル向上のため、溶接技能に長けた専門家を派遣し、アーク溶接技能の現場指導を行った。

受講者	専門家	内容	実施日
日向工業高校生 （申請者：ひまわり工業会）	原田 芳男 氏 （（株）アキタ製作所）	アーク溶接技能の指導	H30. 10. 10
			H30. 10. 17
			H30. 10. 24
			H30. 10. 31

6-1-4 ものづくりに係る品質向上事業

5社（延べ6件）

企業の製造現場で使用される工作機械等の精度を維持するため、職員を企業に派遣

し、現場に検査装置を持ち込んで工作機械や三次元測定機等の精度検査を行った。

6-2 試験研究に関する業務

県北地域の企業と2件の共同研究を行った。1件目は、(株)昭和、関西大学、京都大学、産業技術総合研究所、(公財)宮崎県産業振興機構、宮崎県工業技術センターと共同で、内視鏡外科手術におけるハンズフリーコミュニケーションシステムの開発を行った。

本事業の分担研究として、当協会は(株)昭和と連携して、眼電位・筋電位等の生体信号による空間描画等の機能を付与した装置の設計・試作に取り組んだ。2件目は、吉玉精鍍(株)、福岡県工業技術センターと共同で、クロムめっき老廃液再生の実用化技術の開発に取り組んだ。

6-3 設備利用に関する業務

設備名	利用件数	時間数	収入額(円)
CNC 三次元測定機	40	68	224,740
輪郭測定機	38	38	36,860
平面研削盤	16	27	22,005
表面粗さ測定機	6	10	4,100
NC 成形放電加工機	15	17	39,185
オートグラフ	19	31	124,155
ラピッドプロトタイピング装置	7	54	88,290
ダイヤルゲージ検査機	10	15	6,300
蛍光X線分析装置(エネルギー分散型)	10	13	23,270
CAD・CAM・CAE システム	1	2	7,680
その他	162	430	222,775
合計	324	705	799,360

6-4 依頼試験に関する業務

区分	試料数	収入額(円)
引張試験	128	304,640
曲げ試験	60	142,800
圧縮試験	378	576,450
顕微鏡試験	3	1,200
合計	569	1,025,090

6-5 先進地技術調査及び新技術導入のための派遣研修

先進地 技術調査 (6回)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の最新技術動向調査 (第31回インターフェックスジャパン、東京都) ・ICT技術等の最新動向調査(ものづくりフェア2018、福岡市) ・超微細加工技術に関する調査
---------------------	--

	<p>(第18回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議、東京都)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リチウムイオン電池等の先端材料の技術動向調査(延岡市) ・ICT技術の最新動向調査(第3回関西IoT/M2M展、大阪府) ・分析・計測機器の最新動向調査(延岡市)
<p>新技術導入のための派遣研修(14回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リバーエンジニアリングCADソフトに関する講習(東京都) ・AI、IoTの最新動向と課題(延岡市) ・製造現場のIoT導入事例と課題(宮崎市) ・知財に関する法令の動き(宮崎市) ・生産・開発・分析機器展・セミナー(延岡市) ・硬さ試験の基礎と実務」講座(神奈川県) ・生産性向上のための生産管理・品質管理改善セミナー(延岡市) ・製造ライン遠隔モニタリングを活用した身の丈IoT導入セミナー(延岡市) ・カイゼンのためのIoT導入セミナー(延岡市) ・IoT/AIの実践と最新事例セミナー(延岡市) ・FTIRマクロ分析 基礎セミナー(東京都) ・H31年度研究成果発表会(宮崎市) ・環境イノベーションマッチングフォーラム(宮崎市) ・第44回組織検査用試料の作り方講習会(千葉県)

6-6 宮崎県工業技術センター等他機関との連携に関する業務

県工業技術センターと連携して技術指導、技術相談、設備利用、試験研究等に取り組んだ。

6-7 研究会運営の支援

主に延岡鉄工団地内企業の若手経営者による研究会(チーム延岡0X)や(一社)宮崎県工業会県北地区部会の新事業・販路開拓分科会等に定期的に参加し、技術的側面から情報提供やアドバイス等の支援を行った。

6-8 補助金等申請支援に関する業務

10件(延べ37回)

設備投資や新事業展開のために外部資金獲得を目指している企業に対して、ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金や中小企業庁の研究開発補助金(サポイン事業)の申請書作成支援を実施した。

6-9 センター業務の公開・周知

- ① ホームページの更新(年19回)
 - 4月(1回)、5月(2回)、7月(3回)、9月(1回)、11月(2回)、12月(4回)、1月(2回)、2月(3回)、3月(1回)
 - 1年間のアクセス件数: 3,678件
- ② 情報誌「2019技術情報」第37号の発行(3月発行300部)
- ② メールマガジンの発行(年19回)
 - 5月(1回)、6月(3回)、7月(2回)、8月(3回)、9月(1回)、10月(2回)、11月(1回)、12月(4回)、1月(1回)、2月(1回)に発行
- ④ 見学受け入れ
 - 延べ135名

6-10 企業巡回訪問

延べ72社を訪問し、企業のニーズ調査を行った。

6-11 利用者満足度調査

センター利用のサービス水準の向上を目的として、利用者の満足度の調査を行った。利用者288名に送付し78名から回答を得た。回答結果は今後のサービス内容の改善に生かす。

6-12 業務推進委員会

センター運営の充実や改善を図るため、県北企業の代表者や幹部ならびに行政機関や関係団体の担当者（計10機関）を訪問し、センターに対する意見や機器設置の要望等の聞き取りを行った。今後、意見や要望をもとに、機械設備の整備や運営方法の改善を検討する。

6-13 機械技術センター連携促進事業に関する業務

6-13-1 県北地域のイノベーション創出のための取り組み

県が策定した「みやざき産業振興戦略」に基づいて、産学官の24機関で組織する「イノベーション共創プラットフォーム」と連携し、県内に埋もれた技術シーズの発掘・事業化を支援した。

① 「宮崎テックプランター」事業への参画

（宮崎テックプランターとは、県内企業が抱える技術的課題について、県外の大企業等と連携することで解決策を探るなど、技術シーズの事業化を後押しする創業支援プログラム。）

県北部地域の企業を中心に広く周知するとともに、新事業に取り組む県内企業等のニーズ・シーズを把握し、県北企業の宮崎テックプランターへの参加を支援した。

② 「マッチングのためのラウンドテーブル」の開催（2回）

大学が持つ研究シーズと県北部地域の企業ニーズを結びつける「出会いの場」を設けることによって新事業展開を図ることを目的に、宮崎大学と共催で実施した。

初回（平成30年6月19日、延岡市駅前複合施設エンクロス）は、テーマを限定せず宮崎大学から物理計測システム、森林利用、特産農作物分析の3人の講師の研究シーズを紹介し、参加企業の技術者と意見交換を行った。（参加者15名）

2回目（平成31年1月9日、延岡市中小企業振興センター）は、ニーズ対応型として「発酵」をテーマに、県内の醸造会社が抱える技術的課題を解決し、今後、外部資金研究や共同研究へのきっかけとしてもらうことを目的に開催した。（参加者30名）

6-13-2 機械技術センターの利活用促進の取り組み

① センター利用者の新規開拓

日向市等のものづくり企業を新たに訪問し、利用促進のPRを行った。

② 職業体験実習生の受け入れ（平成30年10月22～25日）

日向市キャリア教育支援センター等が主催する「14歳のよのなか挑戦」に参画し、日向市立大王谷学園中等部の生徒3名について職業体験学習の受け入れを行った。

公益財団法人 宮崎県機械技術振興協会

本協会は県内の機械金属工業の振興を目的として、宮崎県・延岡市・日向市・門川町の出資により、昭和 54 年 2 月 17 日に設立され、平成 25 年 4 月に公益財団法人に移行し、次の事業を行っている。

- (1) 機械金属工業の技術指導及び調査研究
- (2) 機械金属工業に関する情報及び資料の収集
- (3) 宮崎県機械技術センターの管理運営
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

なお、宮崎県機械技術センターの管理運営は、平成 18 年 4 月より指定管理者制度を導入し、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 3 項、宮崎県の公の施設に関する条例(昭和 39 年宮崎県条例第 7 号)第 10 条の規定に基づき宮崎県より委託されており、また、機械技術センター手数料等の徴収事務も委託されている。

役員名簿

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

評議員	酒井	剛	(宮崎大学副学長)
評議員	園田	徹	(九州保健福祉大学副学長)
評議員	緒方	哲	((公財)宮崎県産業振興機構理事長)
評議員	黒木	裕孝	((一社)宮崎県工業会専務理事)
理事長	読谷山	洋司	(延岡市長)
副理事長	吉玉	典生	(延岡鉄工団地協同組合理事長)
理事	黒木	清	(延岡商工会議所専務理事)
理事	黒木	正一	(日向商工会議所専務理事)
理事	甲斐	睦央	(延岡地区建設業協会事務局長)
理事	浜本	和樹	(日向地区建設業協会事務局長)
理事	甲斐	秀明	(高千穂地区建設業協会事務局長)
理事	佐藤	彰洋	(旭化成(株)延岡総務部長)
理事	中園	徹郎	((株)中園工業所代表取締役会長)
理事	甲斐	俊二	(延岡市商工観光部長)
理事	福田	幸一	(日向市商工観光部長)
理事	岩田	一男	(門川町まちづくり推進課長)
常務理事	久木崎	雅人	(宮崎県機械技術センター所長)
監事	柳田	隆晴	(元門川町商工会事務局長)
監事	酒井	修平	(延岡市シルバー人材センター理事長)